

平成21年度

市内遺跡（旧吉井町）発掘調査報告書

2010

高崎市教育委員会

序

平成21年6月1日、吉井町は高崎市と合併し、新「高崎市」が誕生しました。吉井町との合併により、面積460平方キロメートル、人口37万人に達し、人口規模では県内最大、面積では県内2番目の規模を有することとなりました。高崎市域は拡大し、群馬県を代表する都市となりました。吉井町の長く尊い歴史に幕を閉じたことは、非常に残念ではありますが、互いに異なる地域性を尊重し、新「高崎市」を形成していければと思います。

吉井地域には、日本三古碑で名高い国指定特別史跡である多胡碑をはじめ、県指定史跡入野遺跡、平安時代の大集落跡である矢田遺跡など数々の重要な遺跡が知られています。このようなことから、各種開発事業に伴い、事前に試掘調査を実施し、貴重な遺跡が失われることのないよう努めております。平成21年度は吉井地域において10件の試掘調査を実施いたしました。遺跡の保護を図ることができたことは、大きな成果であります。

最後に発掘調査および本報告書刊行に至るまで、ご理解とご協力をいただいた関係機関、各諸氏の皆さまに対し、厚くお礼申し上げます。本報告書の刊行を機に、これらの資料が広く活用いただければ幸いです。

平成22年3月

高崎市教育委員会
教育長 中島 雅利

例 言

- 1 本書は、平成21年度国庫補助事業として試掘確認調査を実施した、市内遺跡（旧吉井町）の発掘調査報告書である。
- 2 試掘確認調査は平成21年4月1日から5月31日まで吉井町教育委員会が、市町村合併後の6月1日以降は高崎市教育委員会がそれぞれ直営で実施した。
調査主体
■吉井町教育委員会生涯学習課（平成21年4月1日～平成21年5月31日）
事務・調査担当 茂木 由行 小根澤 雪絵
■高崎市教育委員会文化財保護課（平成21年6月1日～平成22年3月31日）
事務担当 田口 一郎 須田 奈保子 山田いづみ
調査担当 小根澤 雪絵（吉井教育課） 滝沢 匡
- 3 試掘確認調査に係る経費は、平成21年度国宝重要文化財等保存整備費補助金、平成21年度群馬県文化財保存事業費補助金、吉井町費、高崎市費をもって負担した。
- 4 本書の編集・執筆は小根澤 雪絵・滝沢 匡が行った。
- 5 本書では平成21年4月1日から平成22年1月31日まで実施した9件の調査について報告した。
- 6 当地域の周知の埋蔵文化財包蔵地について、合併前は番号で登録・管理し、「包蔵地（番号）」のように呼称していたが、合併後は高崎市内の既存の番号との重複をしないよう「吉井地区（番号）遺跡」と名称を変更した。なお本文中では名称の先頭につく「吉井地区」を省略した。
- 7 調査で得た出土資料ならびに調査資料は、高崎市教育委員会で管理している。

凡 例

- 1 挿図中の位置図は、高崎市都市計画課発行の「都市計画基本図（吉井地域）」1／50,000、「吉井都市計画図」1／10,000を使用している。
- 2 各位置図ならびに遺物挿図にはそれぞれスケールを付した。

目 次

序

例言・凡例・目次

第1図 試掘確認調査位置図	1
1 多比良追部野遺跡	2
2 馬庭中光寺	3
3 池西浦（吉井地区No.62遺跡）	4
4 神保北山下（吉井地区No.96遺跡）	6
5 本郷火蛇森	7
6 岩井諏訪前遺跡（吉井地区No.77・78遺跡）	8
7 吉井川浅間塚（吉井地区No.104遺跡）	10
8 岩井諏訪東（吉井地区No.77遺跡）	11
9 池南（吉井地区No.62遺跡）	12
第22図 出土遺物図	13
写真図版	

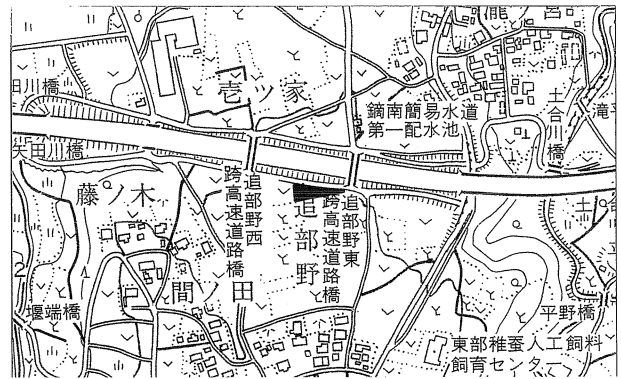


1. 多比良追部野 2. 馬庭中光寺 3. 池西浦 4. 神保北山下 5. 本郷火蛇森 6. 岩井諏訪前
 7. 吉井川浅間塚 8. 岩井諏訪東 9. 池南

第1図 試掘確認調査位置図 (S=1/50,000)

1. ^{たいらおっぺの}多比良追部野遺跡

所在地 高崎市吉井町多比良追部野334番地2
調査期間 平成21年4月13日
調査原因者 開発電子技術（株）
開発事業 携帯電話無線基地局建設工事
対象面積 144.11㎡
試掘面積 19.2㎡



第2図 位置図 (S=1/10,000)

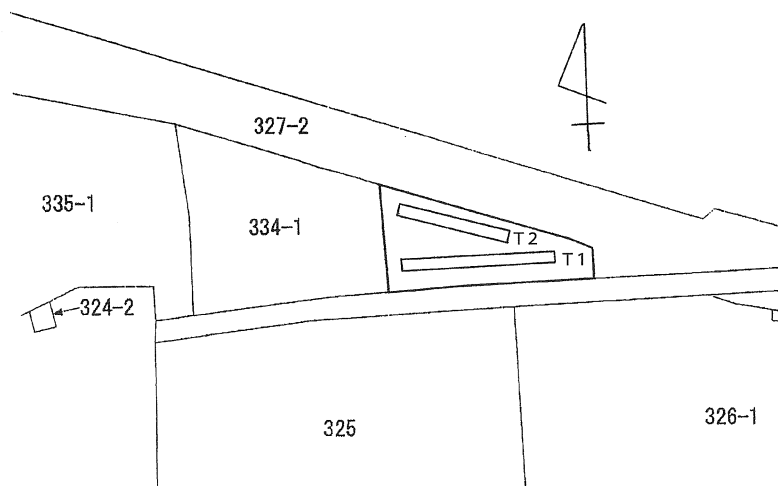
地理的環境 鑷川の支流、牛伏山南面付近に発する矢田川と土合川にはさまれた段丘面上に位置する。開発地に隣接する北側は、高速道建設に伴って調査された多比良追部野遺跡（古墳～平安期の集落）が位置する。

調査方針 開発地は多比良追部野遺跡で確認された集落が、続いて広がっていると予想される。基地局建設位置を中心に、重機により遺構確認面まで掘り下げ、遺構・遺物の有無を確認した。

遺構の傾向 工事で掘削が生じる範囲を中心に、トレンチを東西に2本設定した。トレンチ①・②とも現表土から約35cm下で遺構確認面を検出した。トレンチ①を約14m、トレンチ②を約10m確認したが、遺構は現れなかった。開発区内での遺構の広がり薄いことが予想される。

保存の所見 調査の結果、保存すべき遺構は確認できなかった。表土中より土師器片・須恵器蓋の出土遺物があったが、遺構に伴うものではない。

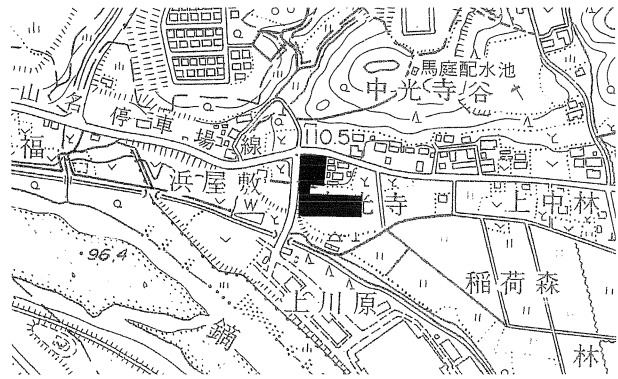
基本層序 1層：黒褐色土層。浅間A軽石、ローム粒子を多く含む。現耕作土層。約35cm。2層：ソフトローム層。遺構確認面。以下ハードローム層。



第3図 トレンチ位置図 (S=1/800)

2. 馬庭中光寺

所在地	高崎市吉井町馬庭中光寺640番地1、 643番地6、644番地1
調査期間	平成21年4月13日
調査原因者	日高リハビリテーション病院
開発事業	駐車場用地造成
対象面積	2,316㎡
試掘面積	59.2㎡



第4図 位置図 (S=1/10,000)

地理的環境 鑄川北岸の下位段丘面上に位置する。開発地の北側背後には岩野谷丘陵が連なる。丘陵上にはヌカリ沢窯跡など、奈良・平安期の窯跡群が点在する。開発地は包蔵地に含まれていないが、鑄川をはさんで多胡碑と対峙する位置にあたること、近接する東側には円面硯や大型建物跡が確認された中林遺跡が位置することから試掘調査を実施した。

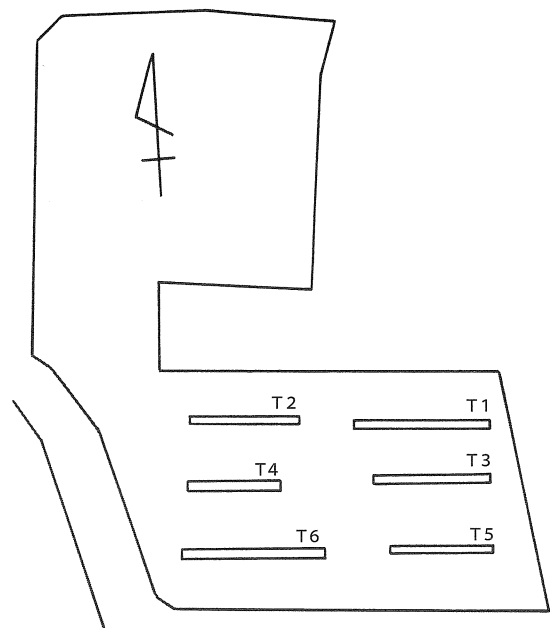
調査方針 造成計画は、大きく分けて北側は過去に盛土した箇所を切土し、法面から低くなっている南側は盛土を行ない用地をフラットにする。切土・盛土部とも包蔵地の保護は図られるが、東側に位置する中林遺跡の広がりを確認するため、盛土する範囲を中心にトレンチを設定した。重機により遺構確認面まで掘り下げ、遺構・遺物の有無を確認する。

遺構の傾向 盛土する造成範囲を中心に、トレンチ①～⑥を東西に6本設定した。それぞれ①約14m、②約12m、③約12m、④約10m、⑤約11m、⑥約15mの長さを確認したが、遺構は現れなかった。開発区内での遺構の広がり薄いことが予想される。4層黒色土層中に遺物が含まれる可能性があったが、トレンチ中からは1点も確認できなかった。長らく湿地帯の状態が続いていたと思われる。

保存の所見 調査の結果、保存すべき遺構・遺物は確認できなかった。本開発地は包蔵地に含まれない無指定地域に変更は無い。

基本層序 遺構確認面のレベルは、トレンチ①が現表土から約40cm下、トレンチ⑥が約75cm下と高低差があり、トレンチ①の堆積は浅い。トレンチ①・②位置の旧地形は緩やかな傾斜地であった箇所を、耕作面を整地する際に傾斜部を現況面まで削ったようである。

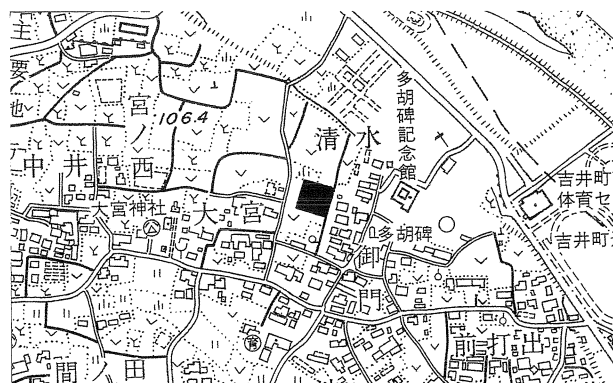
1層：黒褐色土層。浅間A軽石少量含む現水田層。約15～25cm。2層：灰褐色粘質土。鉄分を多く含む。約5cm。3層：灰褐色粘質土。2層より粘質強く鉄分少ない。約10～25cm。4層：黒褐色粘質土。約15cm。5層：暗褐色粘質土。遺構確認面。6層：黄褐色粘質土。礫を含む。以下礫多量に含む。



第5図 トレンチ位置図 (S=1/800)

3. 池西浦 (吉井地区No.62遺跡)

所在地	高崎市吉井町池西浦1248、1249番地
調査期間	平成21年4月14・15日
調査原因者	堀口まき江
開発事業	畑地改良
対象面積	1,487㎡
試掘面積	109.7㎡



第6図 位置図 (S=1/10,000)

地理的環境 鑄川南岸の下位段丘面上に位置する。鑄川河床面との比高差はわずか8mほどである。開発地はNo.62遺跡に該当し、東側約60mには国特別史跡多胡碑が位置する。畑地は長らく荒地となっていたため、根周り直径15～40cmの樹木が多数茂っていた。

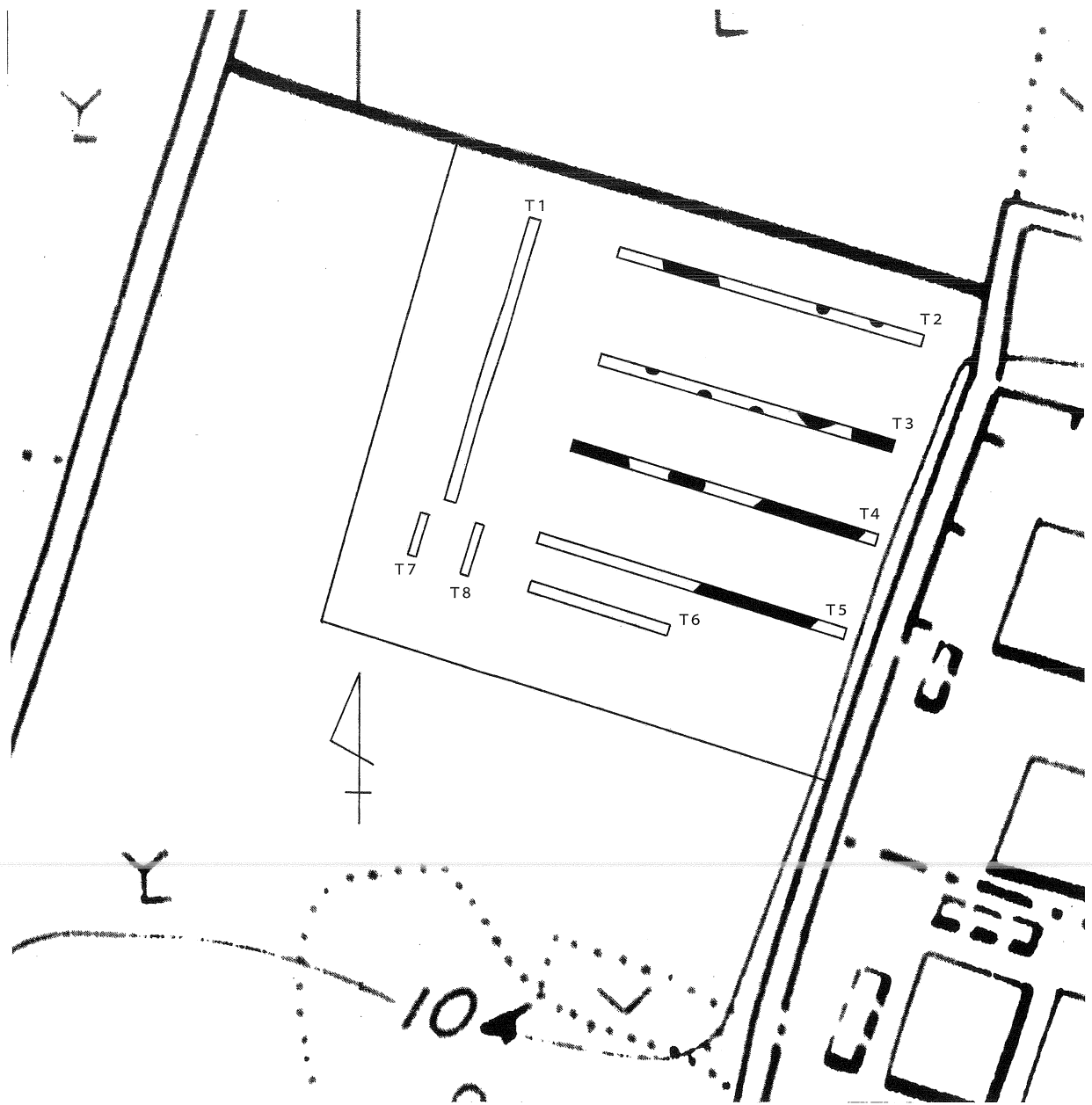
調査方針 畑地改良を行なうにあたり、樹木を抜根する計画があがった。開発地は国特別史跡と隣接する環境から、抜根に際し根の深さおよび遺構面までの深さを捉える必要がある。特に根周りの大きい樹木の深さを確認するため、トレンチを各所に設定した。重機により遺構確認面まで掘り下げ、抜根の掘削に際し遺構に影響がないか確認する。

遺構の傾向 地中への根の張り出しの深さを確認するためトレンチ①～⑤を設定し、特にトレンチ⑥～⑧は根周り直径40cm前後の樹木を抜根する際の深さを確認するために設定した。トレンチ①は23.7mの長さを確認したが、遺構は検出できなかった。トレンチ②は24m設定したところ、柱穴2本・住居跡1軒(時期不明)を確認した。柱穴は直径約80cmを測る。トレンチ③は22.7m設定したところ、住居跡2軒(時期不明)・柱穴3本を確認した。トレンチ④は24m設定したところ、約8.5m幅にわたる黒色土の範囲、直径約1.4mの土坑1基、住居跡1軒(時期不明)を確認した。黒色土範囲の確認面は炭化物を少量確認できるので、住居跡の重複の可能性がある。トレンチ⑤は24m設定したところ、幅広く黒色土の範囲を確認した。西側の立ち上がりラインは、後世のゴミ穴のカク乱があったため確認できなかった。トレンチ⑥～⑧は大きい樹木の周囲に設定し遺構を確認したが検出できなかった。開発区内の遺構は、集落跡を中心に高い分布傾向が見られる。

保存の所見 調査の結果、抜根に必要な掘削の深さは、大きな樹木で深さ約50～60cm必要である。大きい幹の周囲は、トレンチ⑥～⑧を設定したが遺構は確認できなかった。抜根に際し遺構への影響は少ないと思われる。他の小・中樹木の抜根については、30～40cm程度の掘削が必要である。遺構面までの深さは約50cmを測り、慎重に抜根してもらえば遺構への影響は少ないと思われる。出土遺物は表土中のほか、3層に伴う土師器片が確認されている。詳細な時期を特定できる破片はなかった。遺構に伴う遺物は土師器細片のため時期不明である。

基本層序 遺構面までの土層堆積は、トレンチ①位置が約70cm、トレンチ③位置が約50cmである。東西で遺構確認面のレベルに高低差がある。

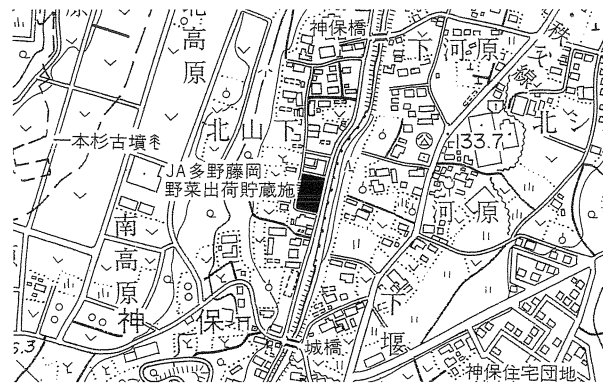
1層：暗褐色土層。浅間A軽石多く含む。現耕作土層。約30cm。2層：黒褐色土層。遺物わずかに含む。3層：暗褐色粘質土層。黄色シルト粒子含む。遺物わずかに含む。遺構確認面。4層：茶褐色土層。粘土～シルト質層。軟質土。小礫わずかに含む。



第7図 トレンチ位置図 (S=1/500)

4. ^{じんぼきたやました}神保北山下 (吉井地区No.96遺跡)

所在地 高崎市吉井町神保北山下166番地1、
167番地1
調査期間 平成21年5月27日
調査原因者 関口幸子・大東建託
開発事業 集合住宅建設
対象面積 1,625㎡
試掘面積 16㎡



第8図 位置図 (S=1/10,000)

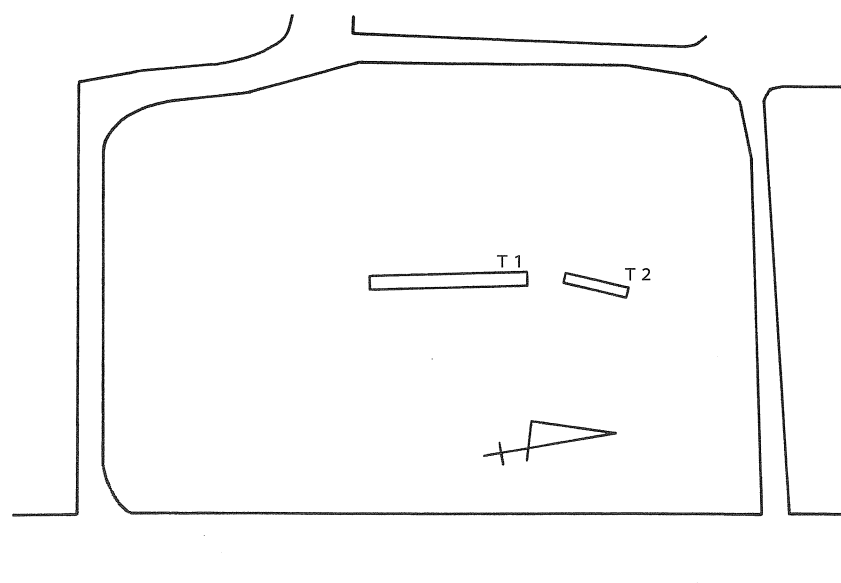
地理的環境 鑓川の支流、御荷鉾山系より発する大沢川の西岸に位置する。大沢川河床面との比高差は約6mを測る。開発地はNo.96遺跡に該当する。西方の段丘上面には神保古墳群が位置する。

調査方針 No.96遺跡の範囲を確認するための調査。重機により遺構確認面まで掘り下げ、遺構・遺物の有無を確認する。

遺構の傾向 ビニールハウスなど納屋がまだ残っていたため、重機の進入可能箇所を中心にトレンチ①・②を設定した。トレンチ①は約11m確認したが、現表土から約40cm下で大沢川に由来する礫混じりのシルト質層が現れ遺構は検出できなかった。トレンチ②も約3m確認したが、約20cm下で同様なシルト質層・礫層を確認した。開発区内の遺構の広がり薄いことが予想される。

保存の所見 調査の結果、保存すべき遺構は確認できなかった。浅間A軽石降下以前は、長らく大沢川氾濫による堆積が続いていたと思われる。

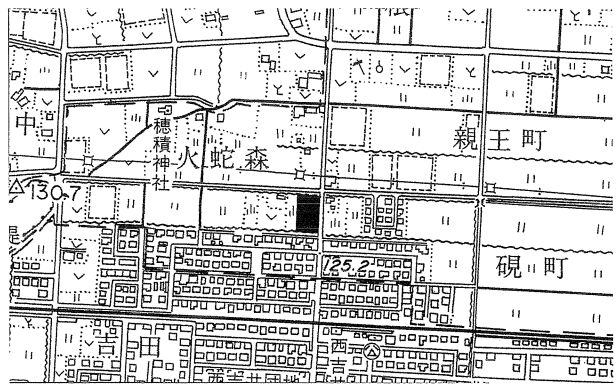
基本層序 1層：黒褐色軟質土層。浅間A軽石を多く含む。約40cm。2層：茶褐色シルト質土層。礫少量含む。20～40cm。1層と2層の間に浅間A軽石の純層(約5cm)の堆積が所により見られる。4層：褐色シルト質土層。10～20cm。礫を多く含む。以下礫層。



第9図 トレンチ位置図 (S=1/600)

ほんごう かじやもり
5. 本郷火蛇森

所在地 高崎市吉井町本郷火蛇森773番地1
 調査期間 平成21年6月23日
 調査原因者 清水泉・大東建託
 開発事業 集合住宅建設
 対象面積 1,087㎡
 試掘面積 5.6㎡



第10図 位置図 (S=1/10,000)

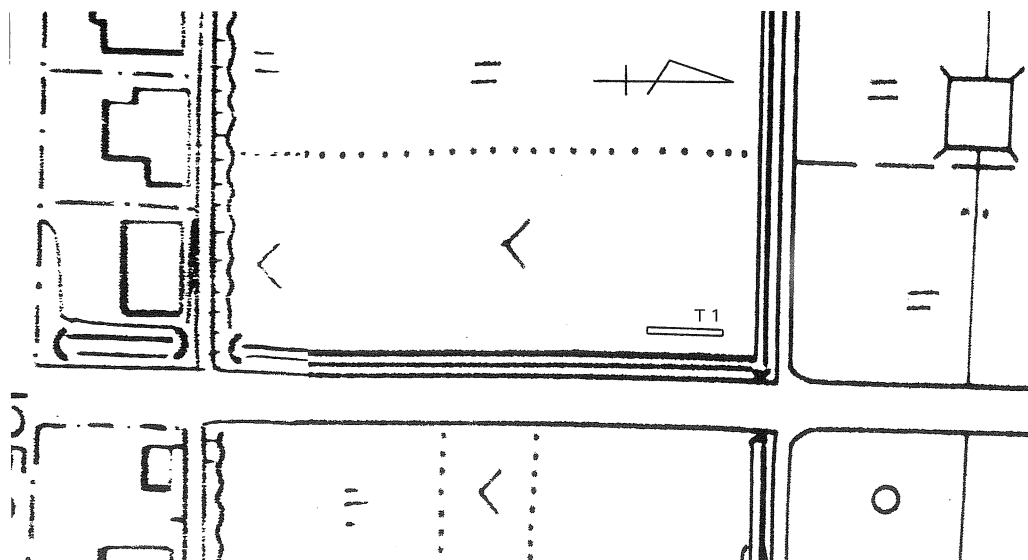
地理的環境 瀧川右岸の低位段丘面上に位置する。開発地は無指定地域であるが、付近にNo.41遺跡（縄文中期・平安・中世）が広がる。開発地の東方、近隣には西中学校建設に伴ない本調査が実施された道六神遺跡（平安期集落）が位置する。

調査方針 No.41遺跡の範囲を確認するための調査。住宅建設位置を中心に、重機により遺構確認面まで掘り下げ、遺構・遺物の有無を確認する。

遺構の傾向 住宅建設位置を中心にトレンチを4本設定する予定であったが、前日の荒天並びに西隣の水田に水が入ったため、水捌けが悪く掘削ができなかった。予定位置を変更し、別の位置で堆積状況を確認した。現表面より約60cm下において遺構確認面を検出した。約7mの長さを確認したが、遺構・遺物は現れなかった。周囲を拡張しても、遺構の広がりには薄いことが予想される。

保存の所見 保存すべき遺構は確認できなかった。堆積土層中の浅間A軽石純層下に、畑跡などの遺構が広がっている可能性がある。

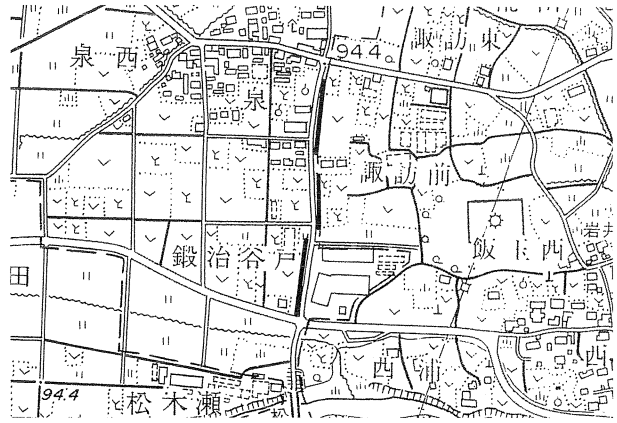
基本層序 1層：黒褐色土層。浅間A軽石を含む。約20cm。2層：浅間A軽石純層。約15cm。3層：茶褐色粘質土層。鉄分を多く含む。約15cm。4層：黒褐色粘質土層。鉄分含む。約10cm。5層：暗褐色粘質土層。遺構確認面にあたる。以下茶褐色粘質土層。礫を多く含む。



第11図 トレンチ位置図 (S=1/800)

6. ^{いわいすわまえ}岩井諏訪前遺跡 (吉井地区No.77・78遺跡)

所在地	高崎市吉井町岩井諏訪前110番地1、130番地1、132番地1、133番地1、156番地1、鍛冶谷戸532番地1
調査期間	平成21年7月13～15日
調査原因者	高崎市吉井支所建設課
開発事業	市道拡幅工事・防衛周辺整備
対象面積	約1,000㎡
試掘面積	100.5㎡



第12図 位置図 (S=1/10,000)

地理的環境 鑄川より約100m北岸の下位段丘面上に位置する。現河床面より約8mの比高差で、周辺は平坦な沖積地が広がっている。開発地はNo.77・78遺跡に該当し、古墳時代後期から平安時代の集落が広がる。開発地の一角には、平成8年度に調査された岩井諏訪前遺跡（古墳時代後期集落跡）、N83遺跡（総覧記載漏れ古墳）が含まれる。

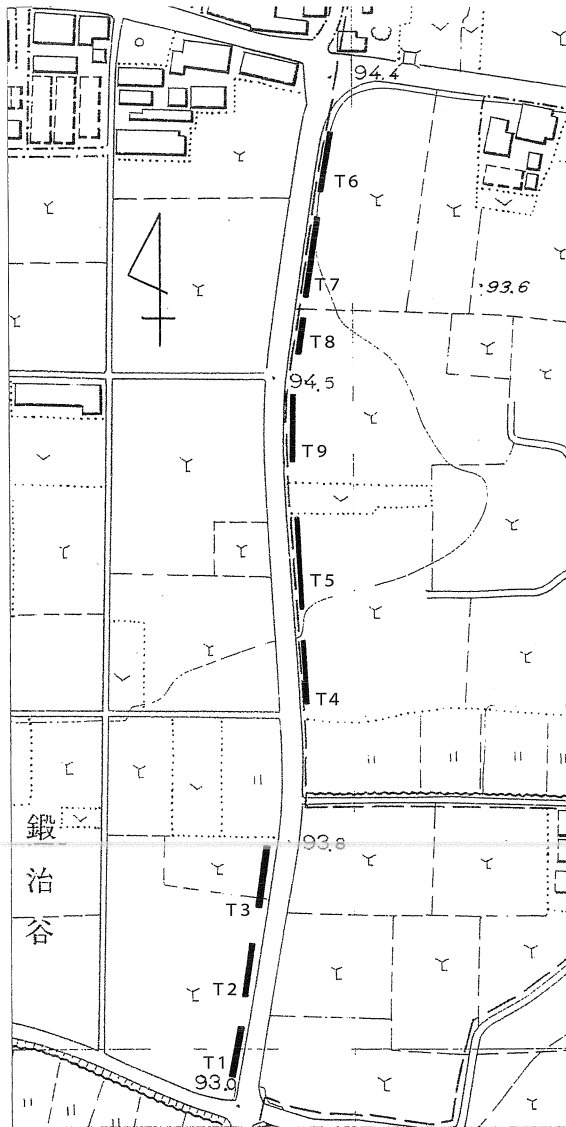
調査方針 重機の進入が可能な場所にトレンチ①～⑨を設定し、No.77・78遺跡の範囲確認および岩井諏訪前遺跡の広がり方、N83遺跡の範囲を確認する。調査は各トレンチを重機により遺構確認面まで掘り下げ、遺構・遺物の有無を確認する。

遺構の傾向 トレンチ①～③はNo.78遺跡の範囲を確認するために設定した。それぞれ9.3m、13.0m、13.3mの長さを確認したが、遺構・遺物は検出できなかった。トレンチ④・⑤は、N83遺跡の周堀範囲および墳丘裾の状況を確認するために設定した。トレンチ④は17m設定したところ、古墳の南端、墳丘裾付近にあたると思われる葺石の崩落部分を確認した。崩落石を除去すれば、葺石の残存部を検出できる可能性がある。周堀については南側では確認できなかった。トレンチ断面を確認すると、約3m幅の浅間A軽石降下以前の掘り込みを確認した（第15図8層）。黒色土を含むが礫主体層で、浅間B軽石の堆積は確認できない。石穴と思われる。トレンチ⑤は21m設定したところ、盛土残存部および墳丘裾を確認した。葺石はすでに破壊され確認できなかった。地権者の話によると、岩井地区消防団詰所建設の際、基礎石として墳丘北側の河原石を大量に運んだという。墳丘裾から北側では、土師器高坏を伴う住居跡を確認した。周堀は確認できなかった。トレンチ⑥～⑨はNo.77遺跡の範囲確認および岩井諏訪前遺跡の集落範囲を確認するために設定した。それぞれ⑥16m、⑦16m、⑧7mの長さを確認したが、遺構は検出できなかった。遺物は3層に伴う土師器片が数点出土した。トレンチ⑨は13m設定したところ、住居跡2軒を確認した。土師器片が出土したが、細片のため詳細な時期は不明である。遺構確認面までの深さは約70cmを測る。

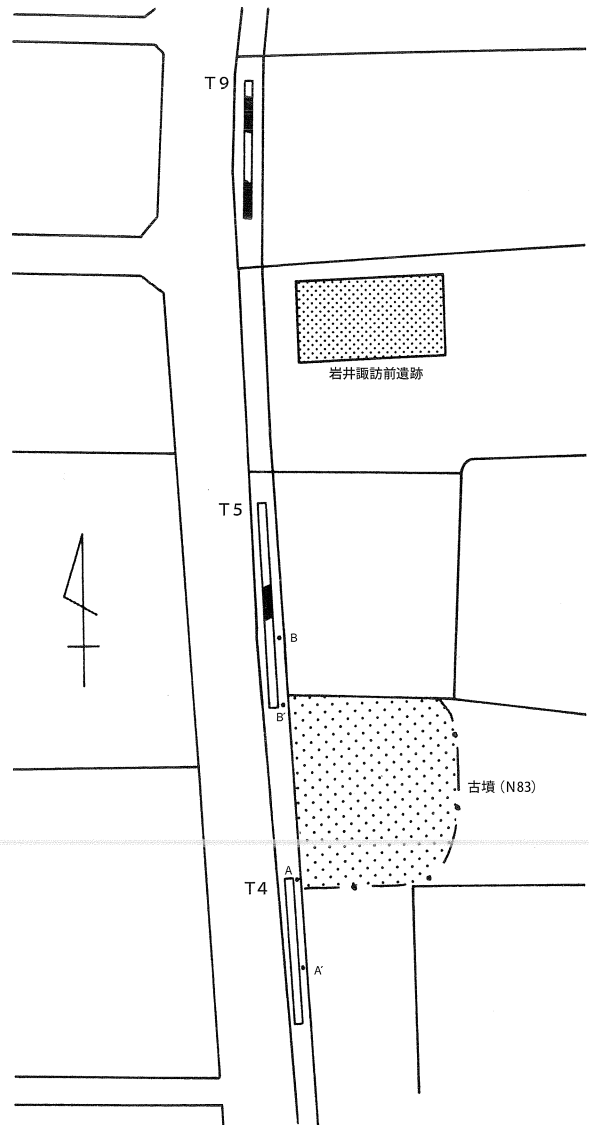
保存の所見 調査の結果、岩井諏訪前遺跡の周辺にあたるトレンチ⑤・⑨において住居跡3軒を確認した。他のトレンチからは遺構は確認できなかったため、集落の南北範囲は狭いと思われる。N83遺跡についてはトレンチ④・⑤において周堀範囲を確認することができなかったが、築造時の旧地形をとらえるためにトレンチ④の地番については拡張する必要がある。岩井110番地1から132番地1の範囲については、保存協議をおこない、平成22年度に本調査実施の予定となった。

基本層序 浅間A軽石堆積以下の土層は黒褐色土層（3層）、茶褐色シルト層（4層）が堆積し、住居跡の遺構は4層からの掘り込みである。4層以下で確認される礫層（5・6層）の確認レベルは場所により深くなっており、旧地形は小谷津が複雑に入り込む地形であったと推定される。1層：黒褐色

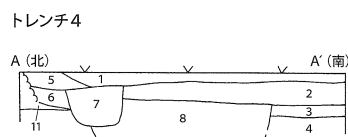
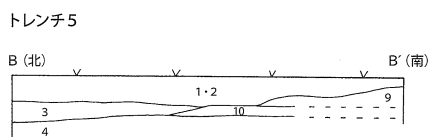
土層。浅間A軽石を含む。約20cm。2層：浅間A軽石純層。3層：茶褐色粘質土層。シルト質・鉄分を多く含む。約15cm。4層：黒褐色粘質土層。細砂～シルト含む。約10cm。5層：暗褐色粘質土層。以下茶褐色粘質土層。礫を多く含む。



第13図 トレンチ位置図 (S=1/2,500)



第14図 トレンチ位置図 (S=1/800)

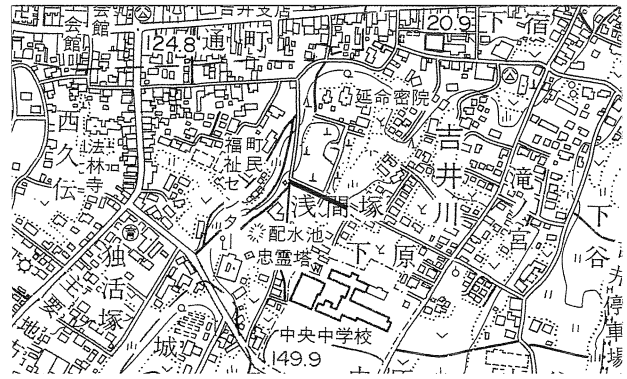


- | | |
|-----------------------|--------------------------------|
| 1層. 現耕作土。As-A多く含む。 | 2層. 暗褐色土層。As-A多く含む。 |
| 3層. 黒褐色土層。細砂～シルト多く含む。 | 4層. 茶褐色土層。粘土質～シルト質。礫はほとんど含まない。 |
| 5層. 崩落礫主体層。 | 6層. As-A多く含む礫混土層。 |
| 7層. 石穴。 | 8層. 礫多量に含む黒色土層。As-Bは含まない。石穴。 |
| 9層. 墳丘盛土層。 | 10層. 旧表土層。 |
| 11層. 旧表土か。もしくは3層にあたる。 | |

第15図 トレンチ④・⑤土層断面図 (S=1/100)

よしいかわせんげんづか
7. 吉井川浅間塚 (吉井地区No.104遺跡)

所在地	高崎市吉井町吉井川浅間塚616番地2
調査期間	平成21年7月16日
調査原因者	高崎市吉井支所建設課
開発事業	市道拡幅工事
対象面積	約400㎡
試掘面積	17.6㎡



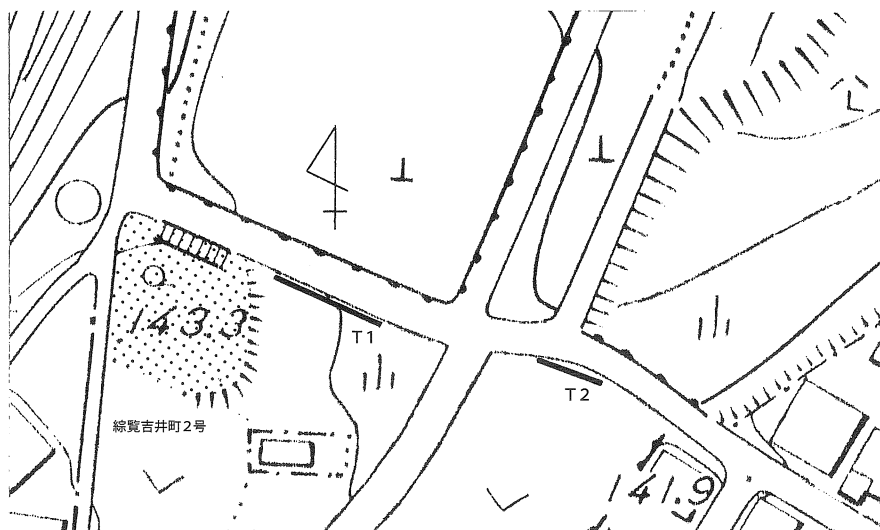
第16図 位置図 (S=1/10,000)

地理的環境 鑄川南岸の上位段丘面上に位置する。上位段丘は鑄川の支流、御荷鉾山系より発する大沢川や矢田川などの侵食作用により複雑な舌状台地が形成されているが、この舌状台地の縁辺に立地する。開発地はNo.104遺跡のほか、上毛古墳綜覧に記載される「吉井町2号(浅間塚)」が所在する。周辺は多胡古墳群の支群と成っており、浅間塚の南方約100mには吉井町4号(吉井稲荷塚古墳)が古くは所在した。隣接する中央中学校建設時に本調査された川内遺跡では、弥生時代後期の集落跡・周溝墓群が広がっている。

調査方針 吉井町2号の範囲確認およびNo.104遺跡の範囲を確認する。調査は各トレンチを重機により遺構確認面まで掘り下げ、遺構・遺物の有無を確認する。

遺構の傾向 トレンチ①は古墳の周堀範囲を確認するために設定した。約15mの長さを確認したが、周堀は検出できなかった。ローム層上位は浅間A軽石混土層が厚く堆積しており、攪乱(幅約3m深さ約1m)を広く確認した。攪乱中は現代陶器や瓦を含んでおり、現代の掘削と思われる。トレンチ②は周辺に広がる集落の範囲を確認するために設定した。約7m設定したところ、埋没谷に堆積する黒色土を確認した。現況面より約1.5m下まで掘り下げたが黒色土の堆積が厚く、これ以下の層位は確認していない。現況地形の推定よりも谷津は深いようである。

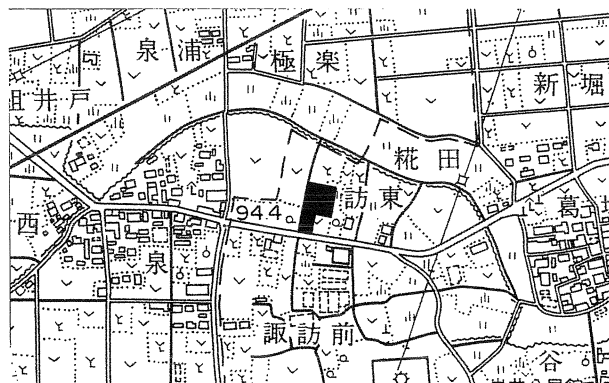
保存の所見 トレンチ①は周堀を確認できなかったが、古墳に伴う埴輪片が少量出土した。市道拡幅による墳丘削平範囲を含め、保存協議をおこない、平成21年度に本発掘調査を実施した。



第17図 トレンチ位置図 (S=1/1,000)

いわいすわひがし
8. 岩井諏訪東 (吉井地区No.77遺跡)

所在地	高崎市吉井町岩井諏訪東167番地1
調査期間	平成21年8月18日
調査原因者	吉田松男・大東建託
開発事業	集合住宅建設
対象面積	1,595㎡
試掘面積	36.6㎡



第18図 位置図 (S=1/10,000)

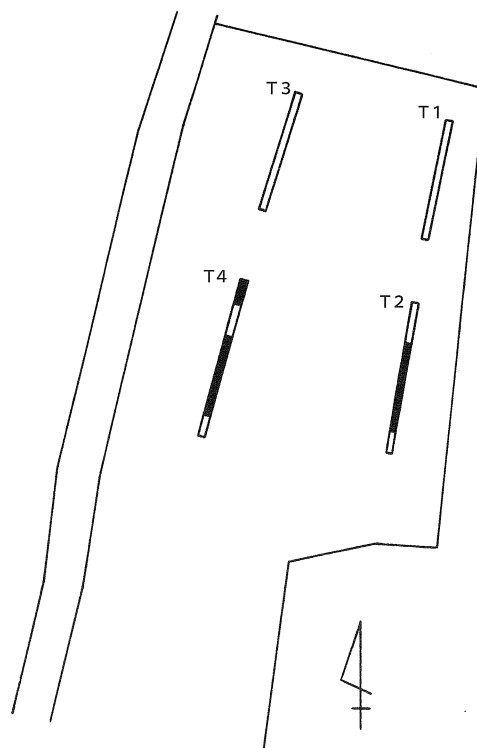
地理的環境 瀧川北岸の下位段丘面に位置する。周辺は平坦な沖積地が広がっている。開発地はNo.77遺跡に該当し、古墳時代後期から平安時代の集落が広がっている。

調査方針 No.77遺跡の範囲確認を行なうための調査。住宅建設位置を中心にトレンチ①～④を設定した。各トレンチを重機により遺構確認面まで掘り下げ、遺構・遺物の有無を確認する。

遺構の傾向 トレンチ①は10.0mの長さを確認したが、遺構・遺物とも出土しなかった。トレンチ②は12.0mの長さを確認したところ、幅6.5mの黒色土の範囲を検出した。黒色覆土の表面は炭化物、少量の焼土を確認できることから、住居跡と考えられる。遺構の重複は確認できなかった。遺物は土師器片・須恵器片が約10点出土した。平安時代の住居跡と考えられる。トレンチ③は10.6mの長さを確認した。土師器片が数点出土したが遺構は検出できなかった。トレンチ④は13.1mの長さを確認したところ、住居跡2軒を確認した。伴出した遺物から、北側で確認された住居跡は古墳時代終末、南側で確認された住居跡は平安時代9世紀後半である。南側で確認された住居跡の黒色土の範囲は幅6.2mであるが、重複は確認できなかった。確認面より須恵器高台付坏が完形で出土したが、原位置のまま埋め戻した。

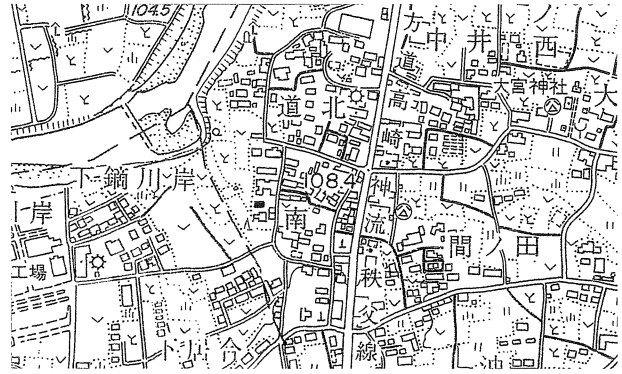
保存の所見 調査の結果、トレンチ②・④において住居跡3軒を確認した。集落跡の範囲は開発区内に広く分布するものと考えられるため、保存協議をおこない、工事計画を変更して、盛土での保護層確保による現状保存となった。

基本層序 1層:暗褐色土層。浅間A軽石を多く含む。約20cm。2層:浅間A軽石多量に含む軟質土。約20cm。場所により下層にAs-A純層が堆積。3層:黒褐色土層。細砂～シルト質を多く含む。約20cm。4層:暗褐色土層。褐色粘質土～シルト質多く含む。礫はほとんど含まない。5層:黄褐色粘質土。確認された遺構は4層からの掘り込みで、確認面までの深さはトレンチ①・③が約60cm下、トレンチ②・④が約70cm下である。ただし確認された遺構部分の上層にあたる4層(4層下位)から、遺構に伴う土器片が多く出土することから、4層黒色土中から掘り込みを行なっている可能性がある。



第19図 トレンチ位置図 (S=1/600)

9. 池南^{いけみなみ} (吉井地区No.62遺跡)



第20図 位置図 (S=1/10,000)

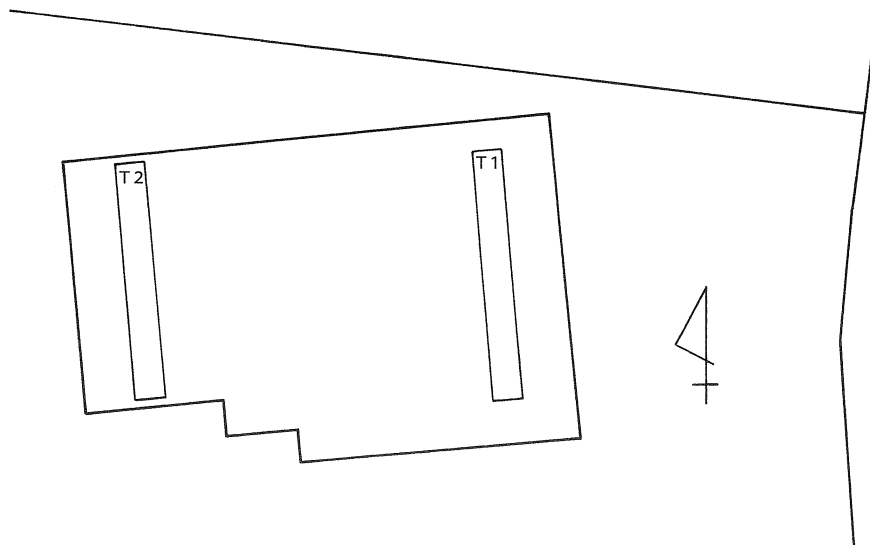
所在地	高崎市吉井町池南1508番地3
調査期間	平成21年8月20日
調査原因者	山田達史・大和ハウス
開発事業	個人住宅建設
対象面積	約209.94㎡
試掘面積	10.4㎡

地理的環境 鍋川南岸の下位段丘面に位置する。西側は下位段丘からさらに一段低くなっており、開発地は崖端に位置する。周辺はNo.62遺跡に該当し、古墳時代から平安時代の集落が広がっている。南方約300m位置には、白鳳期寺院跡と目される雑木味遺跡が存在する。

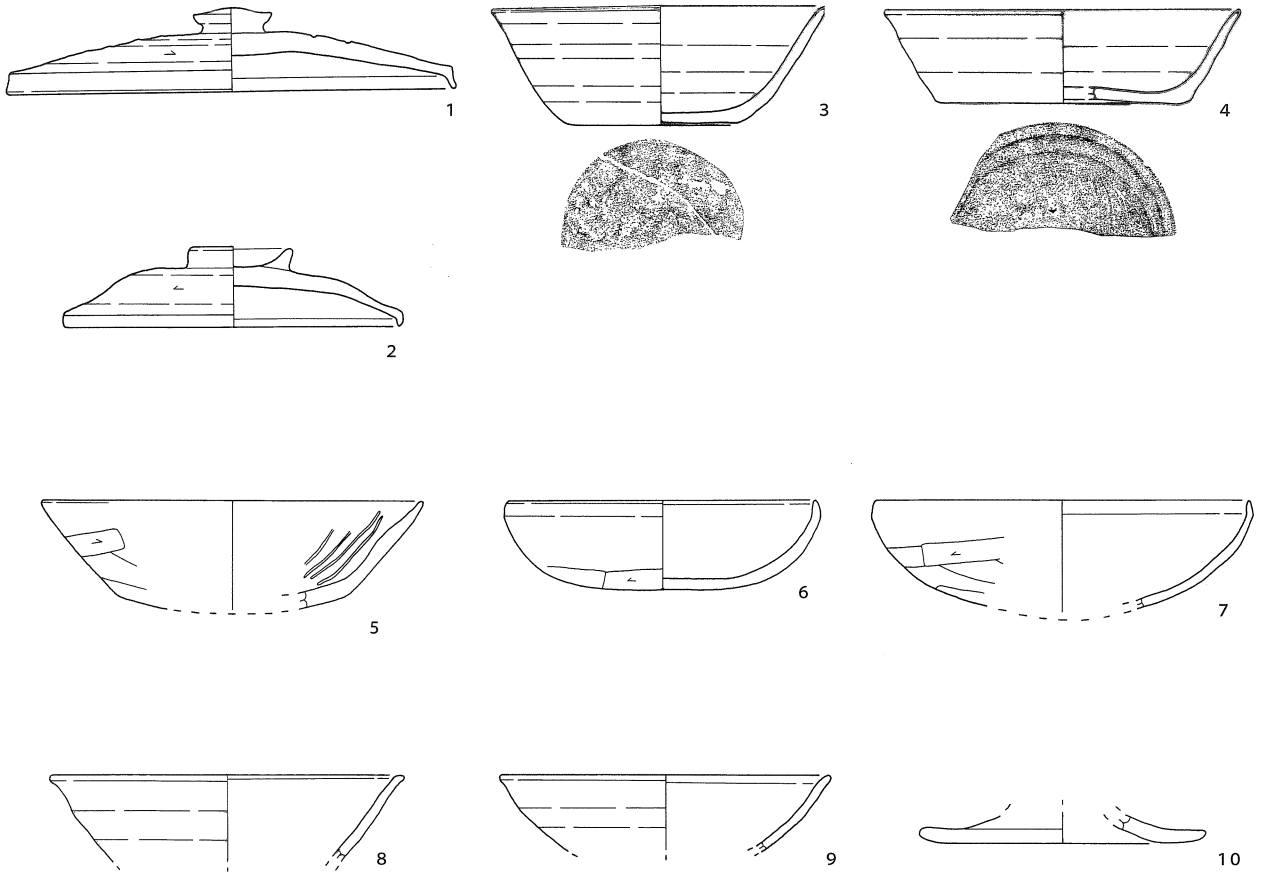
調査方針 No.62遺跡の範囲確認を行なうための調査。住宅建設位置を中心にトレンチ①・②を設定した。各トレンチを重機により遺構確認面まで掘り下げ、遺構・遺物の有無を確認する。

遺構の傾向 トレンチ①は6.3m、②は6.7mの長さを確認した。現況面より約30~40cm下面を掘り下げたが、旧家屋解体時に伴う埋土・整地層が深く、遺構面は確認できなかった。

保存の所見 調査の結果、基礎工事掘削予定の30cmの層位については遺構・遺物とも確認されなかった。現表面から深く後世の埋土が堆積している状況から、工事掘削による遺構への影響は無いと思われる。



第21図 トレンチ位置図 (S=1/200)



1～3. 多比良追部野遺跡トレンチ① 4～7. 岩井諏訪東トレンチ④（北側住居） 8. 岩井諏訪東トレンチ④（南側住居）
 9. 吉井川浅間塚トレンチ① 10. 岩井諏訪前トレンチ⑤（住居）

第22図 試掘調査出土遺物図 (S= 1/3)



1. 多比良追部野
トレンチ② (西→)



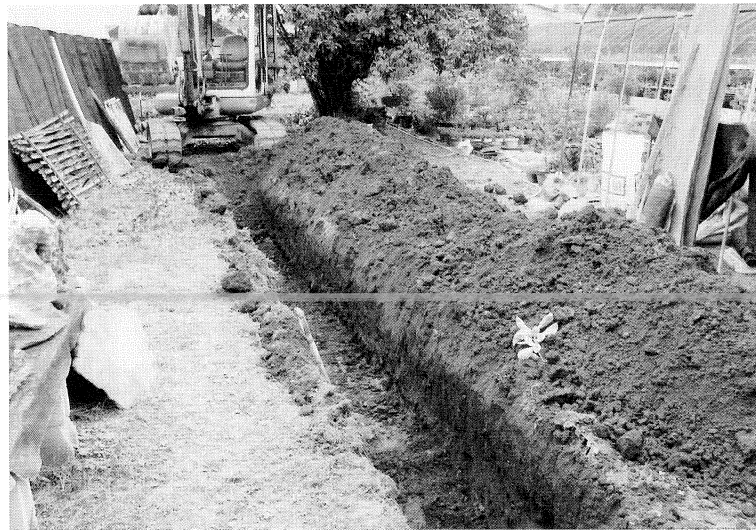
2. 馬庭中光寺
トレンチ①・② (東→)



3. 池西浦
トレンチ③ (東→)



4. 池西浦
トレンチ⑥ (東→)



5. 神保北山下
トレンチ① (北→)



6. 本郷火蛇森
トレンチ (北→)



7. 岩井諏訪前
トレンチ⑤ (南西→)



8. 岩井諏訪前
トレンチ⑤ (南→)



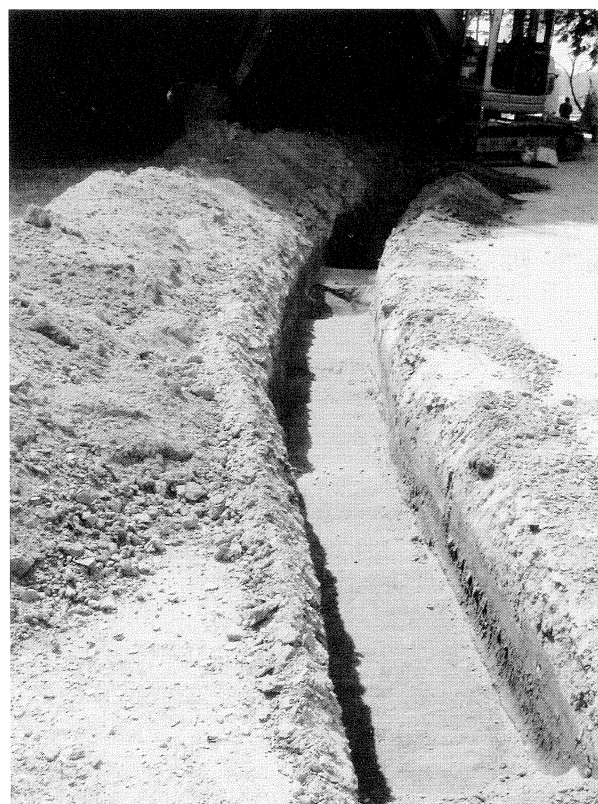
9. 岩井諏訪前
トレンチ⑥・⑦ (北→)



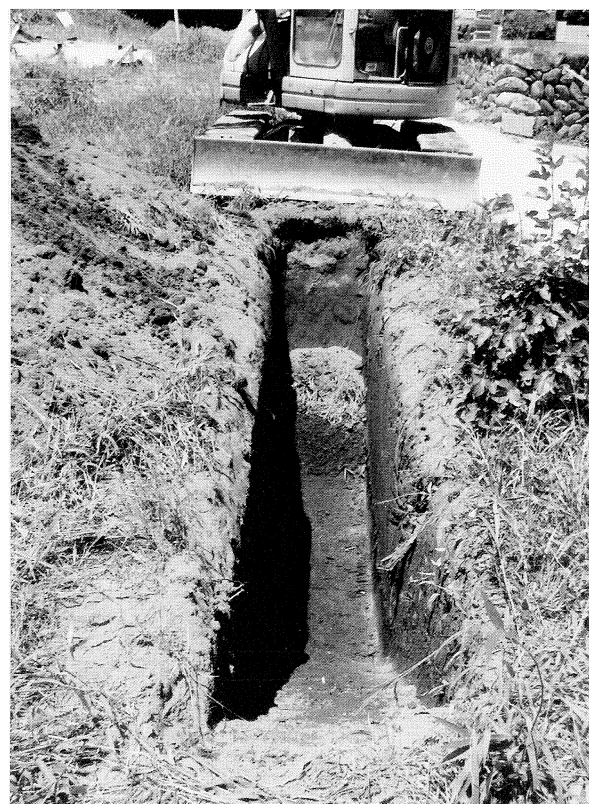
10. 岩井諏訪前 トレンチ④ (南→)



11. 岩井諏訪前 トレンチ⑨ (北→)



12. 吉井川浅間塚 トレンチ① (東→)



13. 吉井川浅間塚 トレンチ② (東→)



14. 吉井川浅間塚
トレンチ①（東北→）



15. 岩井諏訪東
トレンチ④（北→）



16. 池南
トレンチ②（北→）

抄 録

ふりがな	しないいせき（きゅうよしいまち）はくつちようさほうこくしょ
書名	市内遺跡（旧吉井町）発掘調査報告書
副書名	
巻次	
シリーズ名	高崎市文化財調査報告書
シリーズ番号	第261集
編著者名	小根澤雪絵 滝沢 匡
編集機関	高崎市教育委員会
所在地	〒370-8501 群馬県高崎市高松町35番地1 TEL 027-321-1111
発行年月日	西暦2010年3月31日

高崎市文化財調査報告書第261集

市内遺跡（旧吉井町）発掘調査報告書

平成22年3月31日 印刷

平成22年3月31日 発行

編集・発行 高崎市教育委員会

高崎市高松町35番地1

印刷 荒瀬印刷株式会社

